

編集後記

本協会は、令和6年1月に創立100周年を迎え、これを記念し同年1月22日に記念式典を開催し、併せて記念誌を発刊することとしました。

これまで、平成元年1月に「島根県体育史」を発刊し、その後平成6年3月までの新たな加盟団体や競技記録等を追記した「島根県体育史〔補遺・追録〕」を発刊しています。

本記念誌「島根県スポーツ協会創立100周年記念誌」は、この続編ではありませんが、島根の体育・スポーツの歴史を、可能な限りの資料を集め検証し発刊した「島根県体育史」とは異なり、本協会加盟団体の「これまでのあゆみ」や「現在の状況」、「今後の展望」を中心に編集し、そして平成6年から令和5年までの競技記録などをまとめた書籍として作成しております。

「島根県体育史」のあとがきで、編集委員長であった^故渡辺悦男氏は「本書が島根の体育・スポーツの古きを知り、新しきを探る一石にでもなれば幸いである」と述べられています。今回発刊いたしました本記念誌も同様に、島根県のスポーツ関係者の皆さんの目に留まることによって、過去を振り返り、そして未来を展望できる書籍となれば幸甚に存じます。

現在、2030年に島根県で開催予定である、第84回国民スポーツ大会「島根かみあり国スポ・全スポ」での天皇杯・皇后杯獲得を目指し、島根県競技力向上対策本部や関係機関と連携し、競技力向上の取り組みを進めています。

2030年まで残り5年余りとなりました。本県のスポーツ関係者が総合優勝に向かって一丸となって取り組み、昭和57年に開催された「くにびき国体」総合優勝の感動を、もう一度覚えることを切に願うものです。

本協会としましてもこの100周年の節目を契機に、また2030年の「島根かみあり国スポ・全スポ」終了後も、本県のスポーツが未永く発展していくよう、スポーツ振興・本協会の発展に尽力してまいります。

最後に、本記念誌の発刊にあたって原稿をはじめ貴重な写真を提供していただきました、本協会加盟の各競技団体、市町村スポーツ（体育）協会、学校体育団体の皆様と、編集に多大な労力を費やしていただいた、山陰中央新報社、松陽印刷所様に心よりお礼を申し上げます。

令和7年3月

島根県スポーツ協会 事務局